

日興GAMエマージングストラテジー・ファンド（毎月分配型）

ファンドの概要

設定日 2011年2月25日
 償還日 2021年1月19日
 決算日 原則毎月19日
 収益分配 決算日毎

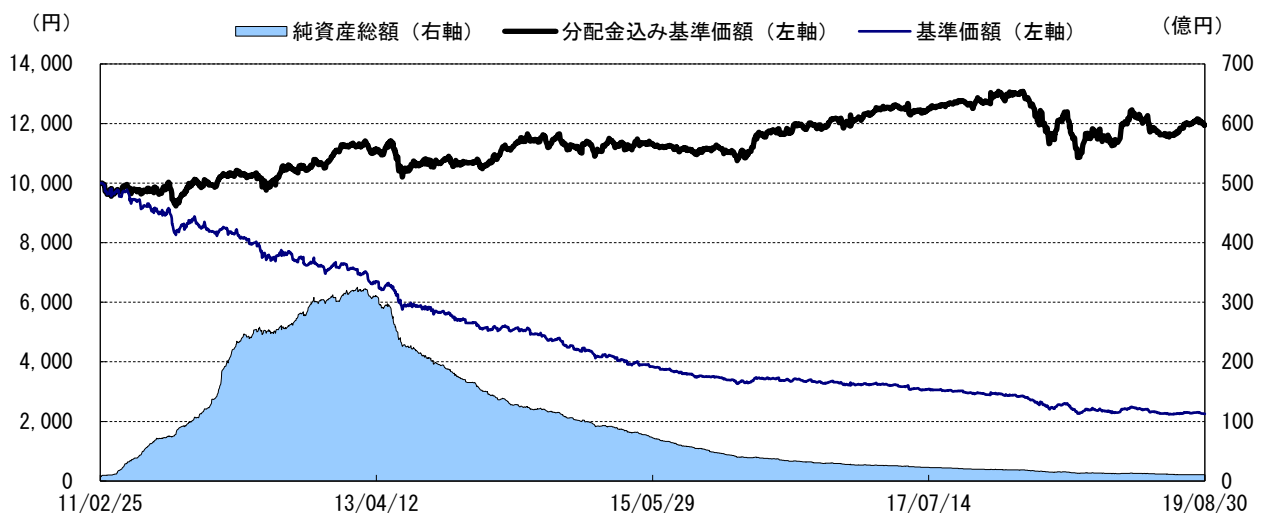
ファンドの特色

1. 新興国などの成長性や変動を捉え、主に新興国の債券や通貨への積極的な投資によって収益を追求します。
2. 運用は、債券や通貨運用のスペシャリストであるGAM インターナショナル マネジメント リミテッドが行ないます。
3. お客様の運用ニーズに合わせてご選択いただけるよう、毎月分配型と資産成長型をご用意しました。

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
 信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 2,248円
 純資産総額 : 10.41億円

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-1.06%	2.76%	-2.65%	6.96%	0.49%	19.39%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

<資産構成比率>

GAMエマージング ストラテジー・ファンド	97.0%
マネー・アセット・ マザーファンド	0.1%
その他	2.8%

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	18・9・19	18・10・19	18・11・19	18・12・19	19・1・21
8,770円	240円	20円	20円	20円	20円	20円
		19・2・19	19・3・19	19・4・19	19・5・20	19・6・19
		20円	20円	20円	20円	20円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	2,292円	
当月お支払いした分配金	-20円	
要因	債券および債券先物	-7円
	クレジット・デフォルト・スワップ	0円
	金利スワップ	-3円
	トータル・リターン・スワップ	0円
	為替	6円
	その他	-20円
当月末基準価額	2,248円	

※左記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※設定・解約状況などの要因により「その他」要因の数値が大きくなる場合があります。

◆ご参考

クレジット・デフォルト・スワップ (CDS)

国や企業の債務不履行（デフォルト）に伴う信用リスクを対象とした金融派生商品。CDSの買い手は一定の契約料を支払うが、国や企業にデフォルトが起きた際には、売り手から金利や元本に相当する支払いを受け取ることができる。

金利スワップ (IRS)

同一通貨のキャッシュフローを交換する取引で、固定金利と変動金利を交換する取引が代表的。例えば、「今後、金利が上昇する」と予測した場合には、IRSを使い「固定金利を払って変動金利を受け取る」契約を、「低下する」と予測した場合には「変動金利を払って固定金利を受け取る」契約を結ぶ。

トータル・リターン・スワップ (TRS)

債権のリスクを包括的にカバーする取引。CDSは信用リスクのみを対象としているが、TRSは定期的な支払を条件として、価格変動リスク、信用リスクなど、特定の債権に関する様々なリスクを取引相手に移転することができる。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

日興GAMエマージングストラテジー・ファンド（資産成長型）

ファンドの概要

設定日 2011年2月25日
 償還日 2021年1月19日
 決算日 原則毎年1月19日
 収益分配 決算日毎

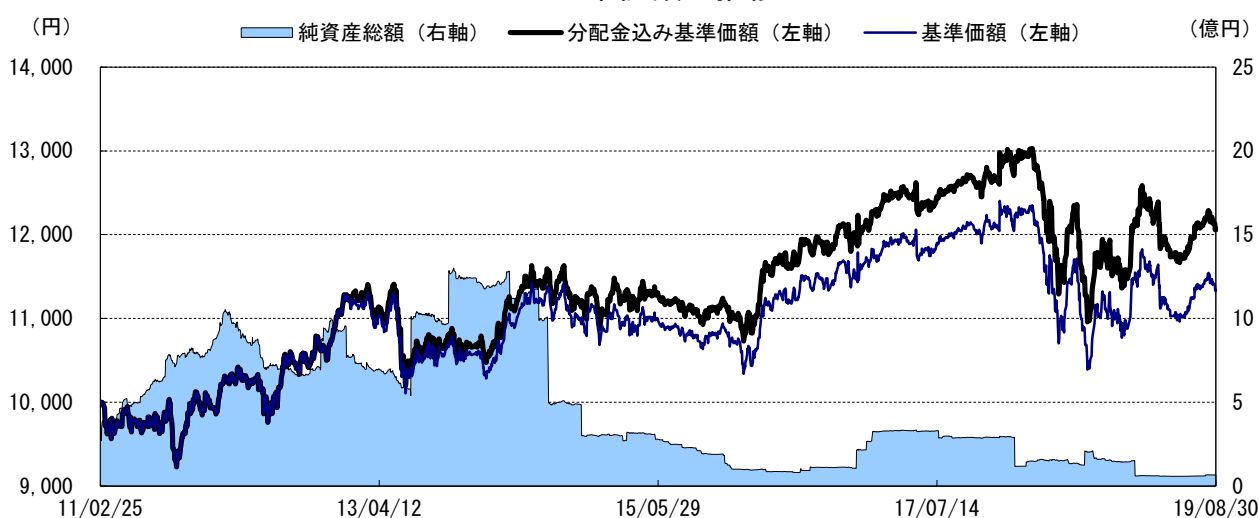
ファンドの特色

1. 新興国などの成長性や変動を捉え、主に新興国の債券と通貨への積極的な投資によって収益を追求します。
2. 運用は、債券や通貨運用のスペシャリストであるGAM インターナショナル マネジメント リミテッドが行ないます。
3. お客様の運用ニーズに合わせてご選択いただけるよう、毎月分配型と資産成長型をご用意しました。

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
 信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 11,331円
 純資産総額 : 0.65億円

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-1.07%	2.78%	-2.65%	6.97%	1.87%	20.59%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

<資産構成比率>

GAMエマージング ストラテジー・ファンド	97.0%
マネー・アセット・ マザーファンド	0.1%
その他	2.9%

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

<分配金実績（税引前）>

15・1・19	16・1・19	17・1・19	18・1・19	19・1・21
100円	100円	100円	100円	100円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	11,453円	
当月お支払いした分配金	0円	
要因	債券および債券先物	-37円
	クレジット・デフォルト・スワップ	0円
	金利スワップ	-14円
	トータル・リターン・スワップ	0円
	為替	29円
	その他	-100円
当月末基準価額	11,331円	

※左記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※設定・解約状況などの要因により「その他」要因の数値が大きくなる場合があります。

◆ご参考

クレジット・デフォルト・スワップ (CDS)

国や企業の債務不履行（デフォルト）に伴う信用リスクを対象とした金融派生商品。CDSの買い手は一定の契約料を支払うが、国や企業にデフォルトが起きた際には、売り手から金利や元本に相当する支払いを受け取ることができる。

金利スワップ (IRS)

同一通貨のキャッシュフローを交換する取引で、固定金利と変動金利を交換する取引が代表的。例えば、「今後、金利が上昇する」と予測した場合には、IRSを使い「固定金利を払って変動金利を受け取る」契約を、「低下する」と予測した場合には「変動金利を払って固定金利を受け取る」契約を結ぶ。

トータル・リターン・スワップ (TRS)

債権のリスクを包括的にカバーする取引。CDSは信用リスクのみを対象としているが、TRSは定期的な支払を条件として、価格変動リスク、信用リスクなど、特定の債権に関する様々なリスクを取引相手に移転することができる。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

GAMエマージングストラテジー・ファンドのポートフォリオの内容

※GAM インターナショナル マネジメント リミテッドより提供された情報です。

コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場概況

8月の現地通貨建て新興国債券はアルゼンチンの極端なパフォーマンスの低迷を受け、弱含みとなりました。新興国通貨は概ね下落しました。通貨別ではタイがプラスとなったものの、アルゼンチン、ウルグアイ、ブラジルが大きくマイナスとなりました。

◎運用概況

ファンドのパフォーマンスはマイナスでした。

新興国債券ではトルコリラ建て国際機関債や現地通貨建てアルゼンチン国債のロングポジションがマイナス寄与しました。新興国通貨では主にブラジルレアルのロングがマイナス寄与しました。パフォーマンスの最大のマイナス要因は、アルゼンチンの現地通貨建て国債をわずかに保有していたことです。アルゼンチンを保有する理由は、年初に、対外収支、財政赤字、赤字のファイナンスの大幅な改善など、魅力的な回復ストーリーの多くの特徴を示したことでした。8月に行われた、10月の大統領選挙の予備選挙では、野党候補のフェルナンデス元首相が現職マクリ大統領を抑えて首位となり、マクリ氏の再選が危ぶまれる状況となり、投資家は野党が過去に介入的な政策を取ったことを踏まえ、フェルナンデス氏が大統領になれば自由市場経済を推進するマクリ大統領よりもリスクが高くなるとみているため、アルゼンチンペソ、債券、株価が下落しました。同国の見通しについて楽観的な見方をすることは難しいですが、債券の価格はすでにデフォルト(債務不履行)は不可避な状況にあり、回収価値は現実的であるため、さらなる下方リスクは抑制されるものと考えます。我々は、より広い資産クラスへの大幅な影響は予想していないものの、今後も動向を注視していく所存です。

◎今後の見通し

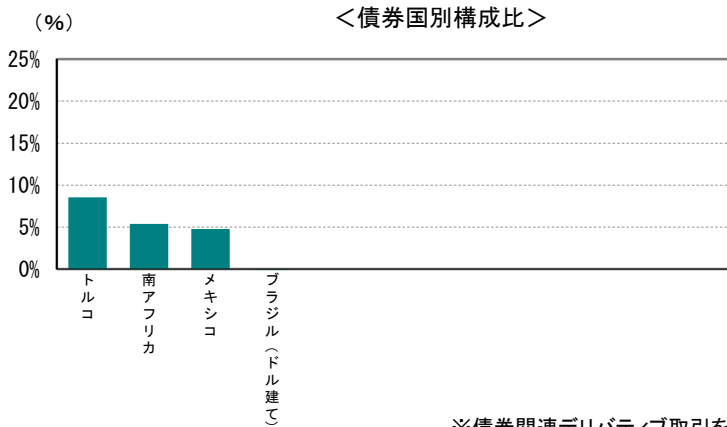
全体のポジションに大きな変更はありません。8月の出来事にもかかわらず、見通しはおおむね変更されていません。我々の基本的なケースは、中国の景気刺激策が経済成長に強い影響を及ぼし始め、取引(特に政治的サイクルを考慮した場合)に妥協することは中国と米国の双方の利益であるということです。このシナリオでは、世界経済の成長率が高まり、商品価格が持ち直すことが期待され、新興国の為替には追い風になります。しかし、我々が間違っており、貿易戦争がさらに悪化した場合、この穏やかな前向きな見通しを再検討し、それに応じて戦略を再配置しなければならないだろうと考えております。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

※GAM インターナショナル マネジメント リミテッドより提供された情報です。GAMエマージングストラテジー・ファンドの数値です。
※比率はGAMエマージングストラテジー・ファンドの純資産総額比です。

債券部分



＜債券格付別構成比＞

格付	比率
AA以上	17.5%
A	0.0%
BBB	0.0%
BB	1.2%
B	0.0%
その他	0.0%

＜セクター別構成比＞

セクター	比率
ソブリン債	1.2%
その他	17.5%

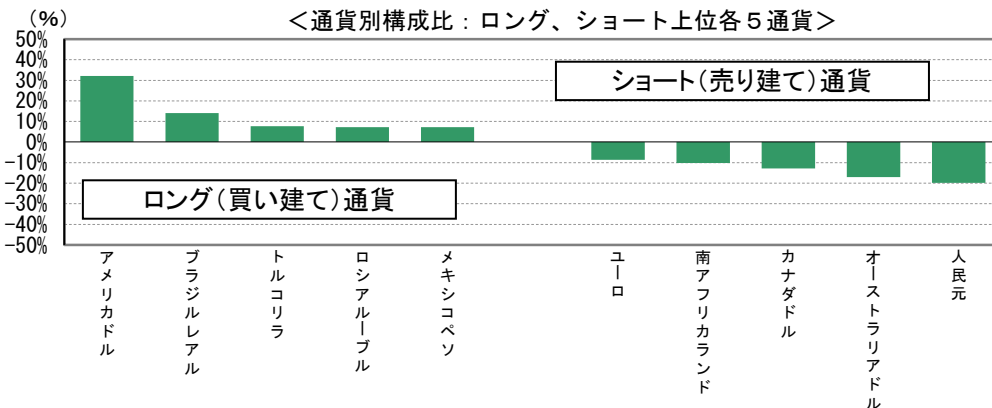
※債券関連デリバティブ取引を活用するため、合計が100%を超える場合があります。
※上記データにはCDS(クレジット・デフォルト・スワップ)、IRS(金利スワップ)等は含まれていません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

新興国債券ではトルコリラ建て国際機関債や現地通貨建てアルゼンチン国債のロングポジションがマイナス寄与しました。

通貨部分



	ロング通貨	ショート通貨
通貨数	7	5
構成比合計	68.7%	-68.5%

※純資産の400%までそれぞれ売り建ておよび買い建てを行なうことがありますが、実質的な組入比率が純資産の-100%~100%の範囲内となるように運用します。
※上記データには通貨オプションは含まれていません。
※各通貨の構成比についてはロングとショートの差し引きとなっています。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

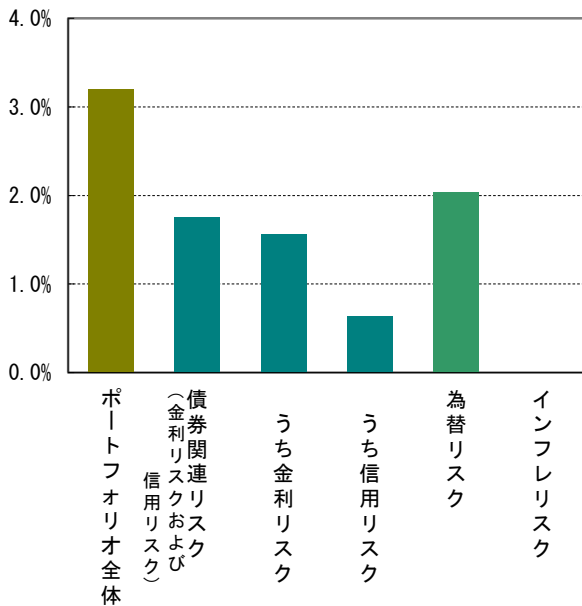
新興国通貨では主にブラジルレアルのロングがマイナス寄与しました。中国はブラジル最大の輸出市場であり、人民元が安くなったり、中国経済が弱くなったりすると、中国の潜在成長力に悪影響を及ぼし、自国通貨を下落させることとなります。米中間の貿易戦争の激化とそれに伴う人民元の7ドル以下の下落に対する懸念が引きずられていたため、ブラジルレアルは対米ドルでも下落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

※GAM インターナショナル マネジメント リミテッドより提供された情報です。GAMエマージングストラテジー・ファンドの数値です。
※比率はGAMエマージングストラテジー・ファンドの純資産総額比です。

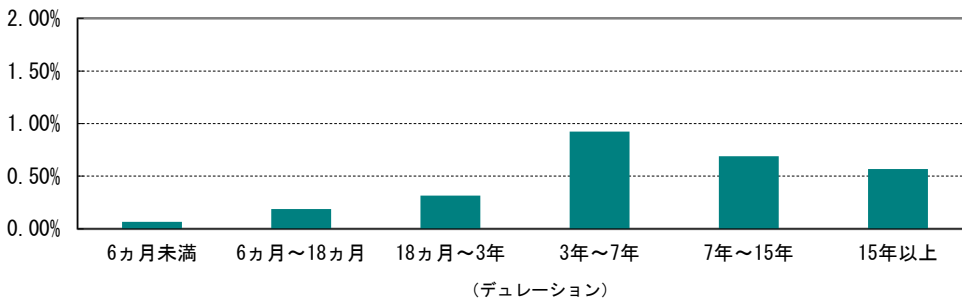
＜ポートフォリオのバリュー・アット・リスク＞



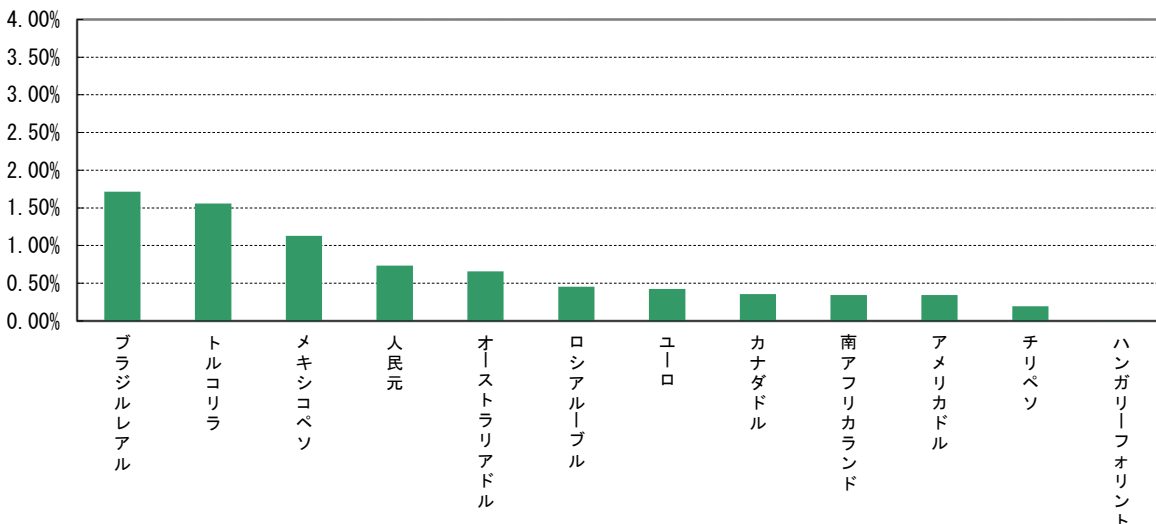
◆バリュー・アット・リスク(VaR)とは

- ・リスク管理に使われる指標の一つであり、「一定の確からしさでの最大損失」を表します。
- ・例えば、「月次ベース、99%水準のVaRが300円」といえば、1ヵ月での損失が300円を超える確率は1%である(100ヵ月に1回程度しか起きない)と想定されることを意味します。
- ・数値が大きいほどリスクが高いことを表わしており、当ページの分析からは、当ポートフォリオや、投資している債券や為替のどの部分でリスクをとっているかが分かります。
- ・ここでは、「20日間ベース、99%水準」のVaRを計算しています。
- ・なお、通常VaRは金額ベースで表示されますが、ここでは純資産総額に対する比率で表示しています。例えば、基準価額が10,000円でVaRが300円の場合は、3.0% (=300円/10,000円)と表わしています。
- ・例えば、ポートフォリオ全体のバリュー・アット・リスクを債券関連リスクと為替リスクに分解した場合に、その2つの合計値よりも全体のリスク値の方が低くなっていますが、これは債券と為替の値動きが異なることによりリスクが低減する効果が生ずることがあるためです。他のリスク分解についても同様のことがいえます。

＜債券戦略部分のデュレーション別バリューアットリスク＞



＜通貨別バリューアットリスク上位12通貨＞



投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2021年1月19日まで(2011年2月25日設定)
決算日	【毎月分配型】毎月19日(休業日の場合は翌営業日) 【資産成長型】毎年1月19日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	【毎月分配型】毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 【資産成長型】毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ロンドンの銀行休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ルクセンブルグの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し4.32%*(<u>税抜4%</u>)以内 *消費税率が10%になった場合は、4.4%となります。 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 《ご参考》 (金額指定で購入する場合) 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。 例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 (口数指定で購入する場合) 例えば、基準価額10,000円のとときに、購入時手数料率4.32%*(<u>税込</u>)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×4.32%*(<u>税込</u>)=43,200円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額104万3,200円をお支払いいただくこととなります。 *消費税率が10%になった場合は、上記例示の購入時手数料率(税込)は4.4%になり、それに基づき計算される金額も増加します。 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
--------	---

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し <u>年率2.088%~2.188%*(<u>税抜2.0%~2.1%</u>)程度</u> が実質的な信託報酬となります。 *消費税率が10%になった場合は、2.11%~2.21%となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.188%*(<u>税抜1.1%</u>)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.9%~1.0%程度となります。 *消費税率が10%になった場合は、1.21%となります。 ※この他に、「GAMエマージングストラテジー・ファンド」における基準価額がその時点におけるハイ・ウォーターマーク(過去の成功報酬控除前基準価額(支払い済み収益分配金については加算します。))の高値または設定来の日本円3か月LIBOR累積リターンのいずれかが高い方を超えた場合には、その超過額に対して20%相当額の成功報酬がかかります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に債券およびデリバティブ取引にかかる権利を実質的な投資対象とします。債券およびデリバティブ取引にかかる権利の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合があるほか、為替予約取引（為替関連デリバティブ取引にかかる権利なども含みます。）なども積極的に活用しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・債券関連デリバティブ取引にかかる権利の価格は、金利の動きや先物市場の需給および発行体のクレジット動向等の影響を受けて変動します。ファンドにおいては、債券関連デリバティブ取引にかかる権利の値動きに予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の債券および債券関連デリバティブ取引にかかる権利は、先進国の債券および債券関連デリバティブ取引にかかる権利に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。
- ・新興国の債券および債券関連デリバティブ取引にかかる権利は、先進国の債券および債券関連デリバティブ取引にかかる権利に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・債券投資などの現物資産の外貨建て部分については、対円で為替ヘッジを行なうことがあります。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。
- ・通貨投資については、世界各国の為替関連デリバティブ取引や為替予約取引などを積極的に行なうため、為替変動の影響を大きく受けます。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

デリバティブリスク

- ・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

レバレッジリスク

- ・世界各国のデリバティブ取引や為替予約取引などを積極的に用いてレバレッジ取引を行ないません。したがって、債券市況や為替変動の影響を大きく受けません。

＜集中投資に関する事項＞

ポートフォリオのリスク分散に努めますが、一部の投資対象に集中して投資を行なうことがあります。集中投資している一部の投資対象の価格変動により損失が生じた場合は、分散投資した場合に比べて、大きな損失を被るリスクがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「日興GAMエマージングストラテジー・ファンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第6号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

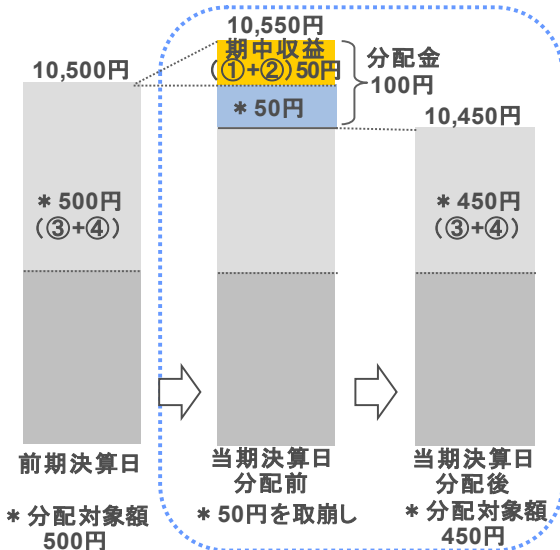
投資信託で分配金が支払われるイメージ



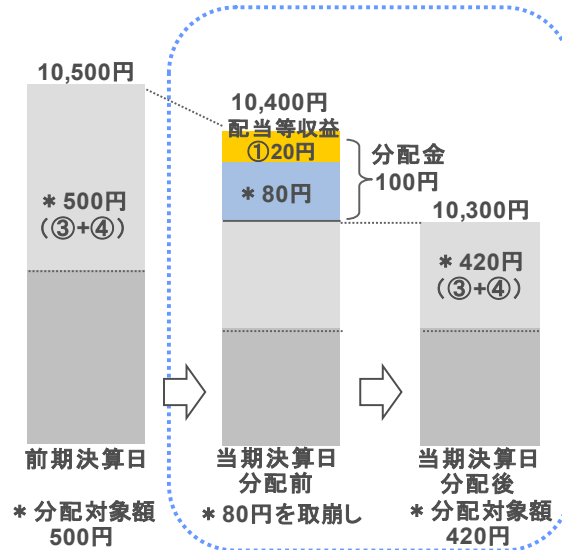
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

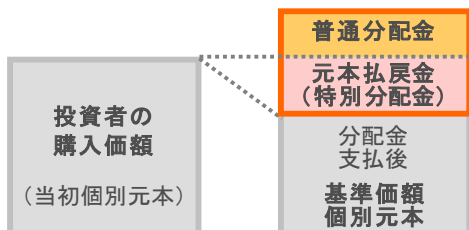


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

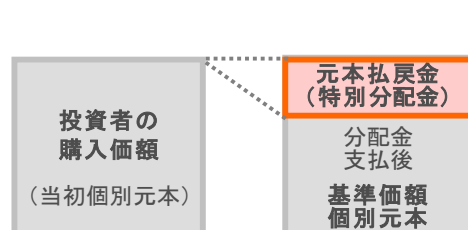
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- 普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。